

【講師略歴】

二瓶 弦器

1978年 東京都江東区出身
2000年 日本歯科大学附属歯科技工専門学校卒業
2001年 ユウキ歯科補綴研究所勤務～現在
2002年 江東歯科技工士会 副理事
2005年 江東歯科技工士会 常務理事～現在
東京都歯科技工士会 組織実行委員会
2012年 東京都歯科技工士会 学術部 部員

遊学会会員、D-Technications 会員、臨床咬合研究会 会員

【抄 録】

「誰か教えて！！歯科技工士会！

～これからの「歯科技工士会」の話をしよう！～

歯科技工士会が何をしているのかよく分からない。これから、入会を考えているが歯科技工士会のことがよく分からない。歯科技工士会に入会してはいるが、本当に納得する理由が見つからない。友人や先輩に言われたからなんとなく入会した…。

私も当初は先輩に誘われるがままに何も分からず入会しました。専門学校を卒業して免許を得た時点では、歯科技工士会と言う組織を完全に理解する機会はありませんでした。そもそも歯科技工士会とは何なのか？ その存在意義は？ 入会するとメリットはあるのか？ 組織に所属するとは？ 歯科技工士と言う免許を得ているということはどういうことなのか…。正直疑問の方が多いと思います。入会して10数年、地域歯科技工士会の理事や東京都歯科技工士会の委員等を務めながら先輩方や仲間から多くのことを教わり自分なりに納得できる根拠を模索してきました。

では、実際に歯科技工士会は必要なののでしょうか？ 何の目的のために、誰かを助けるために歯科技工士会は存在しているのでしょうか？

今講演は、そんな疑問を解消していただくべく、私が体験し理解してきたことを分かり易くまとめて発表したいと思います。主観的な想いも入る場面もあるとは思いますが、先輩方にはきちんと後輩が理解をして歯科技工士会の活動をしているかを確認していただき、同世代、後輩の方には同じ目的意識を持っていただくことによって、是非技工士会というものを理解していただき、これからの活動に自信と誇りを持って行っていただけたらと思っています。当日は、私からの意見だけでなく、ディスカッションの時間も設けさせていただき、参加して下さった方々からのご意見やご指導も頂戴しながら、今後の組織作りに生かしていきたいと考えています。